

# JO NAPOT !

ヨー・ナポット! No. 43

*Gifu - Hungary Friendship Association*

Minokamo-city, Ota-cho 3431-1, 505-0041

TEL : 0574-28-1600 FAX : 0574-25-3917

HP: <http://www.gifu-hungary-fa.com/index.html>

2009. 6発行

初夏の候 皆様ご清祥のこととお慶び申し上げます。

今年は、日本とハンガリーの国交140周年及び国交回復50周年の交流年であり、岐阜県ハンガリー友好協会にとっても創立15周年という記念すべき年となりました。

この記念すべき年を称えるべく、当協会も新春より様々な事業を展開しております。

なお、今春の異動により、当協会事務局のメンバーが代わりました。事務局長を渡邊、事務局を堀が担当いたしますので、皆様よろしくお願いたします。

## 1 もとすファミリーコンサート (2月11日 本巣市民文化ホール)

音楽部門「日本・リスト音楽院楽友会」では、子供の頃からクラシック音楽に親しんでいたと、リスト音楽院留学修了生の中田麻衣子さん(ピアノ)、原田綾子さん(ピアノ)、浅野未希さん(ヴァイオリン)と、仲間の戸松法子さん(マリンバ)のコンサートを企画し協力しました。4人が動物の縫いぐるみ姿で登場し、モーツァルトの「きらきら星変奏曲」やシューマンの「子供の情景」などを演奏すると、子供たちはいっせいに注目し、次々と披露されるプログラムを踊るようにして聴き楽しんでいました。このコンサートは、昨年のマスターコンサートがきっかけで開催することになりました。今後もこのようなコンサートが続くことを願っています。



(縫いぐるみ姿で演奏する皆さん)

## 2 ハンガリー大使講演会～グローバル時代に臨む～ (4月17日 大垣女子短期大学)

大垣女子短期大学の創立40周年を記念して開催されたもので、当協会は後援をしました。講演に際して、ボハール大使は、「グローバル化が進み、ひとりひとりが幅広い考え方をすることが大切。」と話され、英語を学ぶことなどを勧めておられました。会場には、同短大の学生や一般の方たちが聴講に訪れ、熱心に聞き入っていました。



(聴講者を前に講演するボハール大使)



(講演後のミニコンサートの様子)

### 3 第15回ハンガリーの夕べ（4月17日 岐阜グランドホテル）

15回目となる「ハンガリーの夕べ」を岐阜グランドホテルで開催しました。式典の中でボハール大使は、「日本とハンガリーの友好は、民間交流が基礎となっており、岐阜県の友好協会は全国でも活発な活動をしている。」と話され、交流の発展を期待されていました。今回の夕べは交流年を記念してコンサートを狂詩曲特集とし、松井静江さん（ピアノ）、五島史誉さん（ピアノ）、浅野未希さん（ヴァイオリン）、市古洋子さん（チェロ）が、それぞれバルトーク、コダーイ、リストの狂詩曲を演奏し、最後にブラームスのハンガリー舞曲第5番と6番を演奏してハンガリー色豊かな音色を響かせてくれました。



（コンサートに聴き入る会場）



（楽しみに語らうボハール大使と古田知事）



（ボハール大使からメダルを受け取る3人）

また、料理は、大使館のモルドヴァン料理長とホテルの松山料理長の競作としたコース料理とし、さらにボハール大使から「ブダペストメニュー」と料理の名前を付けていただきました。

この夜は、約100人のお客様が集まり、大使館から届けられたワインとブダペストメニューを楽しみながら、時間が流れていきました。「ブダペストメニュー」は、来年3月まで、予約をすればホテルで食べることができます。

なお、ボハール大使より、古田知事、山田会長ら役員3人に、交流年を記念して表彰状と記念メダルが贈られました。

### 4 中欧友好交流訪問と加藤幸兵衛陶芸展

（5月1日～9日 ブダペスト、ヴェスプレーム、ウィーン、ザルツブルク）



（メディアの取材を受ける加藤幸兵衛氏）

交流年最大のイベントとして、七代加藤幸兵衛陶芸展をハンガリー・ヴェスプレーム県のヘレンド博物館で開催し、これに併せて訪問団を派遣しました。この陶芸展は、先代の人間国宝 故加藤卓男氏の頃から度々企画したものの、タイミングが合わないまま延期を繰り返してきました。

七代幸兵衛氏は、3年前にヘレンド博物館の下見をし、構想1年を経て、開催となりました。作品は、ラスター彩大皿など30点を展示しました。

開場式には、在ハンガリー日本大使館の鍋倉大使ご夫妻、ヘレンド社のアティラ社長、ヴェスプレーム県のラストヴィツァ議長（知事）が挨拶に立たれ、それぞれ、「交流年にふさわしい展示会ができて嬉しい。」などと祝辞を述べられました。

この後、テープカットに続いて一般公開に入り、待かねた多くの市民が一つ一つの作品を見入るように鑑賞していました。このほか、会場では、幸兵衛氏の講演会やラスター彩作品の墨落としなどで市民交流をし、集まった人たちは珍しそうに取り組んでいました。

また、ヘレンド社で働いていたという地元の陶芸家に、訪問団を近くの工房へ招待していただき、自身の作品を披露されるなど市民交流が広がりました。

訪問団はまた、リスト音楽院を訪問したり、他のメンバーと意見交換をしたりするなどして交流を深め、さら



（「三彩の器」の美しさに見入る観客）

に多治見市笠原町のメンバーとジョルナイ陶器についても話し合い、ジョルナイ作品の視察に協力をしました。

加藤幸兵衛陶芸展は、ヘレンド博物館が5月30日まで、続いてブダペスト歴史博物館にて6月5日から7月5日まで、ザルツブルク博物館では7月18日から8月30日まで開催することになっています。

## 5 マスターコースの日程が確定

全国的な音楽事業となりました「ぎふ・リスト音楽院マスターコース」の日程が決まりました。

7月25日（土）にオンツァイ教授とサバディ准教授が来日され、一足早く来日されているファルヴァイ教授と合流されます。その後、27日（月）仙川アヴェニュー・ホール“ve quanto ho.....”・東京、30日（木）大垣市サイトピアセンター音楽堂、31日（金）多治見市文化会館、8月2日（日）サラマンカホールとコンサートが続き、3日（月）から7日（金）まで県内3会場に別れてレッスン、8日（土）に留学選考会が行われます。ファルヴァイ教授とオンツァイ教授は、9日（日）に帰国されますが、サバディ准教授はしばらく滞在され、9日（日）宗次ホール・名古屋、10日（月）大垣市サイトピアセンター音楽堂、12日（水）門真市民文化会館ルミエールホール小ホール・大阪、14日（金）石川県立音楽堂交流ホール・金沢、18日（火）仙川アヴェニュー・ホール“ve quanto ho.....”・東京の各会場で地元の修了生たちとコンサートを開催されます。お近くの方は、ぜひ鑑賞していただきますようお願いします。詳細につきましては、日本・リスト音楽院楽友会（TEL058-372-8700）にお問い合わせください。

## 6 大使館コンサート・リスト音楽院祭り（6月16日 ハンガリー共和国大使館）

大使館コンサートは、当協会の呼びかけにより、度々大使館ロビーで開催しています。

今回は交流年を記念して、リスト音楽院に関わる音楽家や関係者が集まり、交流を深めることにしています。演奏は、武蔵野音楽大学で教鞭をとられるベルケシュ・カールマン氏（クラリネット）、ナジ・シャーンドル氏（ヴィオラ）の出演が予定されています。コンサートの後は、ハンガリー料理とワインを楽しむことができます。岐阜県からの参加枠は10名です。現在、日本・リスト音楽院楽友会（TEL058-372-8700）で受付をしていますので、お問い合わせください。

## 7 今後予定または計画している催し

9月26日（土）ハンガリーフェスティバル・東京に参加、10月3日（土）観光フォーラム開催（岐阜グランドホテル）、11月24日（火）リスト音楽院シンフォニーオーケストラ開催（飛騨市文化交流センター）12月に大使館コンサート※、総会※（※日時未定）。